

川口市立医療センター広報紙

はな みず き
花水木

特集

2020.5.1 Vol.43

周術期医科歯科連携の取り組み



川口市立医療センター
イメージキャラクター「みみたーず」
“よく聴き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

看護の日

～困難なときこそ看護の心・ケアの心・助け合いの心～

5月12日は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」に制定されました。看護の心、ケアの心、助け合いの心は今後の超高齢社会を支えていくために大切です。「看護の日」は、こうした「心」の認知・普及のために全国で様々な活動が行われます。2020年の今年は、ナイチンゲール生誕200年、看護の日・看護週間制定30周年の記念の年です。

当センターでは、毎年、看護の日を含む1週間を「看護週間」とし、日ごろの看護の様子を写真などで紹介する「パネル展示」や「ふれあいコンサート」、「ふれあい看護体験」を開催。昨年初めて実施した、口腔ケアや災害時の備えなど様々なテーマの「看護ケアミニレクチャー」も好評でした。今年は新型コロナウイルス感染防止のためやむなく中止となりましたが、来年はパワーアップして実施したいと考えています。

現在、パンデミックにより、世界的に医療物資が不足しています。そのような中、市民の皆様から防護服やマスク等の医療物資の寄付をいただきました。大変感謝しております。心のこもった手作りマスクは、それまでペーパータオルと輪ゴムで作成した簡易マスクしか渡せていなかった入院患者さんにお配りしたところ、とても喜ばれました。本当にありがとうございました。

困難な状況の中、当センターでは、職員一丸となり、まさに看護の心、ケアの心、助け合いの心で新型コロナウイルスの感染防止のために昼夜問わず奮闘しています。看護職は最前線で頑張っています。今後とも応援をお願いします。



周術期医科歯科連携の取り組み

周術期とは、術中と術前後の期間を含めた一連の期間のことですが、この間に適切な口腔ケアを行うことで誤嚥性肺炎や創感染（切開部感染）などの術後感染症が減少し、入院期間の短縮につながる事が報告されています。

また、悪性腫瘍に対する化学療法・放射線治療においては口腔粘膜の異常をきたすことがあり、やはり口腔ケアの重要性が指摘されています。

しかし、実際に歯科を設置している病院は約2割で、病院に従事している歯科医師は少なく、院内に歯科があってもさらなる口腔ケアの充実を行うにはマンパワー不足により困難な状況となっています。

そこで、最近では悪性腫瘍や心疾患の全身麻酔の手術、化学療法や放射線治療を行う患者に対し、院外の歯科と連携して対応することで、周術期の口腔ケアを充実させる試みが行われるようになってきました。

なぜ口腔ケアが必要？

全身麻酔の手術時は、気管や胃にチューブが挿入され、開口状態のままの固定となります。虫歯やグラグラする歯があると、チューブを気管に入れる時に破損につながる事があり、飲み込んでしまったり、気管に入ってしまう可能性もあります。

このような歯に対し、あらかじめ歯科で治療が行われていれば、気管内挿管時の歯の破損や、脱けるリスクを軽減することが可能となります。

また、口腔内には非常に多くの細菌が存在します。チューブを挿入する時や無意識状態で飲み込み動作がなくなることによる唾液の流入などが生じることに加え、手術後には呼吸機能の低下、患部の痛みによる痰出し困難、

胃チューブ挿入によるのどの感覚低下、飲み込み機能の低下、意識状態・活動の低下など、様々な要因により誤嚥性肺炎が生じやすい状態となっています。

さらに、大手術、特に消化管手術後は飲食禁止となり、口腔内の汚れがひどくなるため、口腔内を清潔に保つことが必要となります。

周術期の口腔ケアにより口腔内の環境が改善できれば、嚥下性肺炎や創感染の頻度や程度を軽減することが可能となり、抗菌薬使用の減少や入院期間の短縮が得られ、医療費削減にもつながります。退院後も引き続き、問題点の対処が可能であり医科歯科連携の意義は高いと思われます。

医療センターと登録歯科医の連携

具体的な流れですが、まず当センターの医科で診断・治療方針が決定したら、入院日、手術日、手術内容、投薬状況が記載された診療情報提供書を主治医が作成します。その後、1階にある患者支援センターで登録歯科医を紹介・予約し、診療情報提供書は郵送あるいは持参で登録歯科医に届けられます。

登録歯科医においては、診療情報提供書を参考に患者に必要な処置を行った後、登録歯科医師と歯科衛生士による状況報告とその後の口腔管理スケジュールが当センターの主治医に返信され、院内の歯科医師による周術期の口腔内管理に反映される流れとなっています。

2020年3月から、泌尿器科の手術予定患者から運用を開始しました。今後は他の診療科においても比較的大きな手術が必要な患者に対し、拡大していく予定となっています。



病院の美術館！ ミニギャラリー

当センターでは、平成22年から、絵画や写真を展示するミニギャラリーを開催しています。

個人や団体による様々な作品を、月替わりで、1階中央通路と地下1階の総合健診センター前に展示。病院にいながらにして、まるで美術館のような空間を楽しめます。

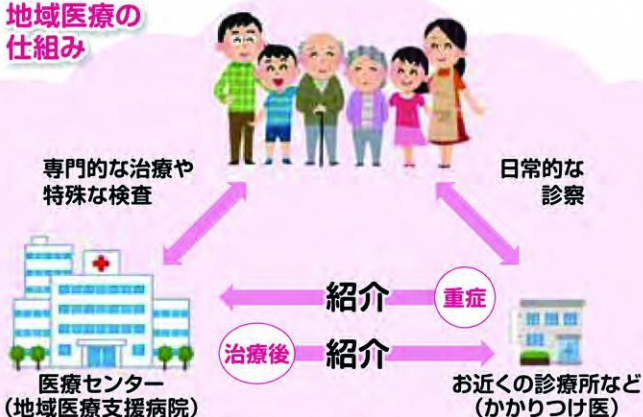
圧倒的な存在感を誇る世界遺産や美しい自然を撮影した写真、日常の景色や身近な静物、心の風景を彩り豊かに描いた油絵や水彩画、シルクの布とピンセットで花や人形を立体的に描くつまみ絵など、多種多様なジャンルの作品を展示しています。

どの展示においても、観覧されたかたから「元気になりました」「心に残りました」など、たくさんの感想をいただいています。来院された際は、どうぞご覧ください。

※新型コロナウイルス感染防止のため一時休止します。ホームページで過去の作品を公開しています。



地域医療の 仕組み



バス案内(国際興業バス)

川口駅東口(8番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

西川口駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発

川口市立医療センター経由 新井宿駅行

赤羽駅東口(6番)発

新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)

総合受付の「5」会計受付にてパーキング カードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容



ホームページ

発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦

編集 広報委員会

〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)